

第3回 NPO 活動交流センター運営委員会 議事録

【日付】2007年12月19日（水）15：00～16：30

【場所】アイーナ6階団体活動室3

【出席者】

委員	委員長	高橋 敏彦 岩城 恭治 小野 仁志 川代 明寛 佐々木 昌子 佐藤 隆 湯川 秀俊 畠山 泰彦	特定非営利活動法人いわて NPO-NET サポート 特定非営利活動法人夢ネット大船渡 特定非営利活動法人レスパイトハウス・ハンズ 特定非営利活動法人やませデザイン会議 特定非営利活動法人いわて NPO 事業開発センター 特定非営利活動法人奥州・いわて NPO ネット 特定非営利活動法人がほ ^ろ ア連携地域づくりサポ ^ー ターズ 岩手県社会福祉協議会
事務局	センター長	高井昭平 早坂良和 阿部高志 工藤英貴	NPO 活動交流センター
担当課		吉田 光	岩手県地域振興部 NPO・国際課

議事

1 開会

NPO 活動交流センターセンター長 高井昭平 挨拶

2 第2回運営委員会での助言指摘事項について

(1) レターケースの運用について

- 利活用促進策として、登録団体へ DM、FAX 通信、カウンターにて呼びかけたが成果無し。
- 全国の事例調査をネット上で行ったが、成功しているケースは少なく、成功しているケースは、基礎自治体が設置をしているケースに限られる。

<結論>

レターケースの運用については根本的な見直しが必要と判断し、次回コンペ時までの課題とする。

(2) NPO データベースのエラーについて

- 指摘事項について 8 月には修復を完了したが、その後不具合が発生し、現状では不具合の修正そのもの出来ない状況になっている。

- 修復に必要な予算の計上は難しい状況下にある。
- 現状のデータベースの利用価値はあまり認められない。
- 他団体が立ち上げているデータベースを活用することも有効⇒検討する必要がある。

<結論>

現データベースシステムに変わる、有効なデータベースシステムを検討し、次回運営委員会に提案する。

3 NPO 活動交流センターならびに県民活動交流センター利用状況報告

- 利用状況について事務局から 11 月末までの実績について説明があった。
(別添会議資料参照)
- 掲示物に関し、掲示期間、申請手続きに関する質問があった。
- 県活センター内掲示物が全般に少なくきれいすぎる。他のセンター同様より多くの情報発信がなされるべきではとの意見があった。
- 相談業務について、従来のカウント基準の対象を広げ、広く市民活動全般ならびに地域課題や社会問題に関する事項も含めカウント対象を広げるアドバイスがあった。

<結論>

県活センターの掲示スペースについては、指定管理者と改善に向けた協議をする。また、相談業務については、アドバイスどおりカウント対象を広げる。それらを反映した相談カード改定案を次回委員会に提示する。

4 NPO 活動交流センターに対する助言

2 ならびに 3 にて助言を含めた議論がなされたため、ここでは特になし。

以上